

今月のテーマ 『母子の健康月間』

第1471回例会

2017年4月6日 Vol.31/No.35

■本日の例会 / 第1472回 平成29年4月13日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告…各委員長
- ゲスト卓話…NPO法人 アースウォーカーズ  
小玉直也様「福島の子ども達へ」

【出席率状況報告】

- ・会員数 ……………52名
- ・出席者 ……………34名
- ・欠席者 ……………18名
- ・出席率 …………… 65.38%
- ・3/23の修正出席率… 69.09%

■会長挨拶



会長 香川美穂子

こんにちは。4月です。やっと春ですね。私は先週金曜・土曜は東京、日曜日は大阪日帰り、そして月曜日から又1泊で東京と、「5日間毎日飛行機に乗る」異常な生活をしました。大阪では全く桜にお目にかかれませんでした。東京で満開の桜を通りすぎりに見物し、火曜日に宮崎に戻っていいよ落ち着いて桜を愛でることが出来そうです。まだ近所の桜は蕾が固いですが・・・往復している時羽田やホテルで真新しいスーツ姿の若い人達を多く見かけ、新年度のスタートを感じました。入社式なのでしょうね。ただロータリーは7月から新年度ですから「4月は年度を纏める最後の3ヶ月のスタート」と私は感じ、先日来お約束しております「満足度アンケート」の集計のご報告とその対応を皆さんと考えていきたいと思っております。会員数54で回収数は22ですから、回収率はあまりよくありませんが、ご協力頂いた会員の貴重なご意見ですので、良い形で次の年度のクラブ運営に反映出来ればと考えております。特に新しい国際ロータリーの定款も届きそれに沿ったクラブ細則を6月までに作成しなくてはならない今、私の今年度のテーマ「基本を守りつ、改良を厭わず」を根底に据えて、会員の皆さんがクラブライフを更に楽しめる新しい形ができればと思っております。アンケートの中で特に目立った「会費が高い」というご意見については、是非皆さんお手持ちの「クラブ活動計画書」の中の一般会計予算書をご覧ください、ご自分が払われた会費の使い道ですから良くお目通し頂ければと思います。会費を抑える為に削るとしたらどこか？今度の定款で例会の回数は各クラブの自主性に任せられました。「経費節減」と例会回数を減らすのも一つの方法でしょう。又会計や

監査役の方がしっかり管理しておられるとは思いますが、各委員会年度引き継ぎの時期となっておりますので、各委員会の支出項目実績を改めて見直し新しい予算作成をするのも大事な事と思います。何しろ今年度からRIに納める人頭金が毎年4ドルづつ上がるという事が決まっております。又昨年度行われた30周年の平沼委員長からご報告とご提案がありました。今後の周年事業に対する積立金もクラブ運営上の大きな課題となって居ります。そういう状況の中で考えなければならぬ事は当然ですが「何が大事で何が不要か」、「ロータリーとは」と言うロータリーの原点を皆さんお一人お一人が一度整理する事だと私は思います。以上よろしくお願い致します。

最後に先週の夜間例会におけます募金額のご報告を申し上げます。あの時は甲斐さんがテーブルを回って寄付を呼びかけて下さり有難うございました。又「鳥山さんご夫婦がお揃いで寄付に来て下さった」ときりんさんが喜んでおられました。合計15379円のご寄付が集まったそうで、「今度東北で100人のお客を前にするコンサートに資金に使わせて頂く。本当に感謝しています」ときりんさんからメッセージが来ております。皆さん有難うございました。

■幹事報告

幹事 田中 寿



2820地区の稲本会員(土浦南ロータリークラブ)様より  
お孫様の心臓移植の募金のお願いが届いております。

日本事務局よりレートのお知らせ 4月  
116円

東日本大震災被災地陸前高田市等訪問ツアーの

案内が届いております。

5月19日～21日 参加申込は事務局までお願いいたします。

第4期RLI-2730パートⅢ及び卒業コースの案内

4月16日 鹿児島大学農学部共通棟 9時30分～

現在22名の参加者になっておりますので、是非参加をよろしくお願いいたします。

#### ■トライアスロン大会について 幹事 高橋誠司



昨年18回宮崎シーガイアトライアスロン大会は、当日雷雨はありましたが会長はじめ皆様方に多大なるご協力とご理解を賜り、800名を超える選手の中、無事に大会を開催し、高い評価を頂きました。

また今年の大会は、ロータリーの新年度が始まる7月のすぐ7月9日（日）に開催が決まっております。現在900名を超える選手がエントリーし、全国から注目される大会になってまいりました。

ここまで大きくなった大会を成功させるためにはまたまたロータリアンの皆様全面的な温かいご支援が必要だと思っております。

大会前日の準備におきましては、昨年私も会場にて確認はしましたが、皆様が今までご指導して育ててもらったローターアクトを中心にボランティア受付など十分おこなっていただけると思っておりますが9日の当日は皆様の温かい応援とボランティアが必要だと感じておりますのでご支援いただけますようよろしくお願いいたします。

皆様のレターBOXに広告バナー協賛のお願い用紙と参加申込書を準備させていただきましたのでよろしくお願いいたします。協賛が6月15日、参加申込が6月22日〆切りとなっております。大会の詳しい内容につきましては押川会員より説明して頂きます。

#### 【第19回トライアスロン大会ご支援の御願い】

トライアスロン委員会 押川敏一郎

第18回シーガイアトライアスロン大会は、皆様の多大なるご支援のおかげで、素晴らしい大会となりました。

今年は、7月9日に開催いたしますが、2月1日エントリー開始直後より申し込みが殺到し、現在は多くの皆様が、キャンセル待ちの状態です。北海道から沖縄までほぼ全国32都道府県から、962名の参加者が決定しています。

今年の特徴は10才未満が80名、60才以上が48名、最高齢は、80才と、ジュニアとシニアの参加が目立つことです。この参加年齢をみても、安全性の高い大会との評価が感じられます。

また、関東地区から164名、福岡から174名など8割が、県外からの参加となっております。

大会を通じて宮崎の良さが広がっていくことが期待されます。

皆様の御協力よろしく御願いたします。

#### ■くすの木賞授賞式

マリンプルーボランティア 山口雅博様



#### マリンプルーボランティアの概要

マリンプルーボランティアは、障害のある方々（以後『ゲスト』）に喜んでいただくことと、その家族、そして毎日介護等で尽くして下さる施設の職員さんにも楽しんでいただくことを目的としています。

元々は、平成4年7月に「海の日ボランティア」として発足したものです。

最初は筋ジストロフィーの方々を「海の日」に一ツ葉浜に招待し、プレジャーボートや和船に乗船するお手伝いをしてのクルージングや、海水浴、おにぎりの振る舞いなどでしたが、回数を重ねる毎にゲスト参加者が増え、自閉症の子供たちや都城視覚障害者協会、その他の障害で車椅子利用の方たち等も参加が増えてきています。

第24回（2016年7月16日）は、ゲスト約120名、ボランティア約350名、家族施設職員な

#### 発行/宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288  
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30～13:30)  
会長/菅川美穂子 副会長/三輪修彦・田中 寿 幹事/江藤敬治

ど含めると500人を超える人数となりました。

尚、招待する側のボランティアも内容が進化して、ゲストと女子学生がペアを組む水鉄砲ゲームや、宮崎国際大学の外国人先生たちによる外国で人気のゲーム、大宮高校ダンス部の若さ溢れる動きに、ゲストの方も障害の程度の違いはあるものの、共に楽しんでくれているようです。

一番の人気は、やはりクルージングです。宮崎北高や宮崎工業高校のラグビー部員や社会人ラグビー選手たちが、それぞれの船長さんたちの船にゲストを車椅子ごと抱えて乗船するお手伝いをし、日向灘をクルージング。その際には楽しくて興奮のあまりパニックになるゲストもいらっしゃる為、男性女性、それぞれ同性の介護が数名ずつ共に乗船し安全に楽しんでもらうように配慮しています。近年は、女性ゲストには北高校女子バレー部員や宮崎商業女子バスケット部員、南九州短大の女子学生たちが介助として付いてくれます。

一方、陸では焼肉・ヤキソバ・カキ氷の振る舞いのほか、漁師さんから届いた新鮮な魚を4人のプロの板前さんたちが刺身や味噌汁にして振舞う等、味ももちろんですが調理のパフォーマンスも普段は目にすることが少ない為、目でも大いに楽しんでもらっています。

6年前まではこの『海フェスタ』は一ツ葉の浜辺で実施していた為、車椅子利用者の移動やボランティアの機材運びがとても大変でした。それが現在では宮崎臨海公園のマリーナ施設を無償で利用させていただき、ゲストにもボランティアにも安全でより楽しく運営できるようになり、大変感謝しています。

また、ここまでの道のりの中でロータリークラブ会員でもあります 片木 重光社長はクルージング担当として、またギャラリー陶花の 渡邊 勝社長は車椅子移動や海水浴担当として、心温まるお手伝いをいただいております。あわせてお礼を申し上げます。

宮崎市ボランティア協会

マリンブルーボランティア 代表 山口雅博

写真 ① 平成16年7月18日



当日早朝、暗いうちから砂浜を重機で平らにならし、板を張り道を作ることで、車椅子でも波打ち際近くの会場まで、高校生の介助のもと安全に進むことができます。

直射日光に弱いゲストの方も多いため、大きめの日傘を用意しています。



身体のごく限られたゲストの皆さんの中には、水中であれば比較的楽に身体が動かせる方もいらっしゃいます。

たくさんのボランティアの協力の下、海水浴を楽しんでおられます。

毎年、唇が青くなるくらいまで水中から出たがらない方もいらっしゃるほどです。

※写真中央は、ギャラリー陶花の渡邊社長。

写真 ② 平成28年7月17日



宮崎臨海公園 多目的広場での様子。

芝生の上での移動なのでゲストも安全で身体負担も少ない。

また帰宅後の車椅子の清掃（以前は砂汚れ）など家族・職員さんの負担軽減も。



船への移動の様子。各船まで浮き桟橋で移動。スロープや平坦な移動の為、少ない介助でも安心して移動できる。

## 会員卓話

松田 くるみ 会員



『円プリオみやざき』の活動を応援しています。これはお腹の中の胎児を守る活動です。日本では年間17.6万人中絶されている

そうです。マザーテレサが「日本は美しい国だが、中絶が多く、心の貧しい国だ」との言葉を受けて、お腹の胎児を守ろうという活動が広がり34年にわたり628名のいのちの誕生をサポートしてきました。

妊娠8週までの胎児をEnbryoと言います。お腹のなかの赤ちゃんの大きさは約2.5センチ4グラムです。一番小さな人間の命の始まりエンブリオと一番小さな貨幣の赤ちゃん1円で救うのがエンブリオ基金です。毎年1000万口以上が集まり宮崎でも9年間で200万を超える基金が集まりました。エンブリオ基金箱がどこにでも置いてあるスマイルまちづくりを目指しています。

助産師さんのお話を聞くと、生まれたばかりの赤ちゃんは、誰もが「僕 私は生まれてきたんだよ」と誇らしい顔をするそうです。少し前までお腹の中にいたあかちゃんも同じ命がある存在として私たちは訴えています。そして7月13日を生命尊重の日と制定しようと動いています。どうぞご協力をお願いいたします。

## ■フェロシップ委員会



- 誕生祝い 黒木陽子、甲斐孝則、黒田健司
- 結婚祝い 鳥山 浩、片木重光、江島 寛  
長岡紀行、田島直也、川崎新一、甲斐裕隆  
長田 洋（敬称略）

## ハッピーボックス（敬称略）

- 川崎新一…結婚祝いを頂き有難うございました。四十五周年目のサファイア婚ですが、よくぞ捨てずにこれまでついてきてくれたものだと感心しています。
- 鳥山浩…4月2日の結婚記念日にお花を届けていただき、奥さんが喜んでいました。来年が金婚式を向えます。ありがとうございました。
- 高野広美…先日は誕生日と結婚記念日のお祝い

を頂き有難うございました。家では子供たちが祝ってくれますが、誕生日と結婚記念日が同じ日のため、セットで一緒にできるので安くつく喜んでくれているようです。

## 出席委員会報告

委員長 岡田圭史

### ◆3/23 メイクアップ者名（敬称略）

押川紘一郎、片木重光、黒木雄一、竹内幹也、野村勝政、湯浅敏幸